

シラバス

科目名	ビジネススキル I		担当者名	古川 農	
学科	放送芸術科 放送芸術コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修 ・選択・必修選択	授業時間数	36時間 (週講時数1)
授業目的	社会人としての知識やルールを身に付け、就職活動を有利に進めるために行う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	社会人としてのビジネススキルと一般教養を身につける事を目標とする。 また、就職活動に向け、就職活動に必要な知識も身につけていく。				
授業概要	基本的に座学を基本とし、社会人として必要な知識やマナーを学ぶ。また、映像制作においてチームで働くことが多くなるため、チームで働いていくときのルールやマナーも学んでいく。 合わせてチームワークを養うために実践的な内容も取り入れてゆく。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	映像業界における就職活動①	
	2	オリエンテーション2	20	映像業界における就職活動②	
	3	オリエンテーション3	21	一般常識テスト⑥	
	4	一般常識テスト①	22	就職ガイダンス①	
	5	敬語の使い方①	23	就職ガイダンス②	
	6	敬語の使い方②	24	就職ガイダンス③	
	7	一般常識テスト②	25	就職ガイダンス④	
	8	メールの書き方	26	一般常識テスト⑦	
	9	電話の掛け方	27	履歴書の書き方①	
	10	一般常識テスト③	28	履歴書の書き方②	
	11	組織で必要なルールとマナー①	29	一般常識テスト⑧	
	12	組織で必要なルールとマナー②	30	履歴書の書き方③	
	13	一般常識テスト④	31	履歴書の書き方④	
	14	チームで働くとは①	32	一般常識テスト⑨	
	15	チームで働くとは②	33	次年度に向けて 先輩としての心構え・後輩とのチーム作り	
	16	一般常識テスト⑤	34	確認テスト・まとめ1	
	17	チームワークを養う I ①	35	確認テスト・まとめ2	
	18	チームワークを養う I ②	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	授業ごとの講評	
	学習態度	100%			
	レポート	0%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>0%				
講師 プロフィール	担当教員は放送芸術科の専任教員。 映像制作会社で撮影技術スタッフを経験後、フリーのカメラマンとして活動しながら、本校で講師としても活動していた。				

シラバス

科目名	音響		担当者名	秋元 孝夫	
学科	放送芸術科 放送芸術コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>	授業時間数	72時間 (週講時数 2)
授業目的	テレビ、放送、ポストプロダクション業界に必要な音声、音響に関する知識、理論を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	実際に聞こえる音(心理音響)～電気音響(アナログ信号)～デジタル分野、無線電波まで音に関する基礎的な知識を広く身につける。				
授業概要	講義形式で展開、第一録音スタジオ、TVスタジオ等にて一部実演あり。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	インピーダンス	
	2	オリエンテーション2	20	インピーダンスの整合	
	3	オリエンテーション3	21	音声分配、分岐システム、ADA、スプリッタ	
	4	音について	22	中継、収録システム	
	5	音の三要素	23	スタジオマルチトラック録音	
	6	音の聞こえ方、感じ方、人の聴覚特性	24	ダイナミクスエフェクトについて、コンプ、リミッタ、ゲート、エキスパンダ	
	7	音波、波長、波形	25	サラウンドシステム	
	8	音声信号＝電気信号	26	デジタルオーディオ	
	9	バランス回路、伝送、位相について	27	デジタルオーディオ伝送、記録	
	10	電気を音にする、スピーカーのしくみ	28	デジタルオーディオデータ、ファイル	
	11	スピーカーシステム	29	FPU/ワイヤレスシステム	
	12	音を電気に変える、マイクの種類、用途	30	FPU/ワイヤレスシステム	
	13	ダイナミックマイクの仕組み、特性、用途	31	MAについて	
	14	コンデンサマイクのしくみ、特性、用途	32	MAの概念と作業の進め方	
	15	音の大きさ、デシベル、	33	適正テレビ音声/ラウドネスレベル	
	16	マイクレベル、ラインレベル、スピーカーレベル	34	確認テスト・まとめ1	
	17	PAシステムについて	35	確認テスト・まとめ2	
	18	増幅回路、各種アンプ、その必要性	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度	20%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～ 69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫70% G≪海外体験型学習≫10%				
講師 プロフィール	現役フリーランスエンジニア、ライブ/コンサート収録、PA、スタジオ録音等をこなす。 職務経歴30年以上の経験で、業界に必要な知識と理論を伝える。				

シラバス

科目名	照明		担当者名	柳戸 勲	
学科	放送芸術科 放送芸術コース		授業方法	講義・実習	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間 (週講時数2)
授業目的	放送業界で必要な照明に関する知識を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	放送業界で必要となる照明に関する知識に加え、 放送業界のスタッフの一員として照明および裏方(スタッフ)の心構え、良識ある人間性の確立を目指す。				
授業概要	「学び」「考え」「行動」を最大のテーマとして捉え、社会性豊かな学生を育成する。 スタッフとしてのチームプレー、チームワークの必要性を理解し作品制作の実務を修得する。 「舞台TV照明」基礎編を中心とした講義形式を基本とする。 経験と実績に基づいて作成した資料を配布し、説明。約4時間を使い、スタジオにて機材を使い照明実習。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	光について①照明工学、ルクス・カンデラ等	
	2	オリエンテーション2	20	光について②太陽光のスペクトル	
	3	オリエンテーション3	21	TV用語の解説(配布資料あり)	
	4	照明とは?光について、色との違い	22	舞台美術、演出、照明についての用語解説	
	5	上演芸術の歴史について	23	安全対策について	
	6	劇場機構と照明設備について①	24	事故防止につながる基礎	
	7	劇場機構と照明設備について②	25	TVスタッフの役割について① P、D、ADの仕事と役割	
	8	テレビスタジオの機構と設備について①	26	TVスタッフの役割について② CA、L、AD、TK等の仕事と役割	
	9	テレビスタジオの機構と設備について②	27	CMグラフィティについて	
	10	テレビスタジオの機構と設備について③	28	TVの仕事、スタジオ・ロケーションにおける ドラマの照明	
	11	テレビ照明の特徴と技法、色温度	29	音楽番組の照明、中継、報道、CMの照明	
	12	テレビ用語について	30	スタジオにて照明実習① レバトンを使って三点照明をモニターを通して見る	
	13	3点照明について	31	スタジオにて照明実習② スタンドに灯体を寄せ、光の三原色・エフェクトライトを見る	
	14	スタジオに於ける照明の仕事	32	ドラマにおけるアイライト(強調する明かり)の説明	
	15	ロケーションに於ける照明の仕事	33	色彩について 加法混色・減法混色について	
	16	照明機器、電球、フィルターについて	34	確認テスト・まとめ1	
	17	電気工学について① オームの法則、電力計算	35	確認テスト・まとめ2	
18	電気工学について② 絶縁体について	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	90%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度	10%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~ 69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>10% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>90% G<海外体感型学習>0%				
講師 プロフィール	柳戸 勲…現役の、舞台(バレエ、オペラ、語り、シャンソン等)を中心としている照明家。体験を基に広くスタッフ養成への授業を展開する。				

シラバス

科目名	放送技術 I		担当者名	青沼 俊雄	
学科	放送芸術科 放送芸術コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択(必修選択)	授業時間数	72時間 (週講時数 2)
授業目的	メカトロニクスに強いソフトエンジニアになれるよう、電気の基本的な知識が身に付くことを目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	電気は目に見えなく解りづらいので、いかに解りやすく進めるかが大きなポイントとなるので、これを頭に入れて進めたい。				
授業概要	電気ので、から始まり、電圧・電流・抵抗・直流・交流・位相・リアクタンス・インピーダンスといった基礎的な内容を。後半は、ダイオード・トランジスタ・増幅器・発振回路・電波伝搬・AM・FM・PCM・デジタル変調・テレビ放送の伝送方式・放送回線の伝送システムなど応用的な内容について行う。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	○ 最も簡単な電源回路	
	2	オリエンテーション2	20	○ 安定化電源(レギュレータ)回路	
	3	オリエンテーション3	21	○ ダイオード	
	4	○ 電気の発見、電気の正体	22	○ トランジスタと増幅の概念	
	5	○ 電圧・電流・抵抗・導体と不導体	23	○ 増幅器の基本	
	6	○ 直流と交流	24	○ OPアンプを含めた応用の一例	
	7	○ 最も簡単な電気回路、オームの法則	25	○ デシベルについて	
	8	○ 抵抗の直・並列接続と分圧・分流	26	○ 発振回路(発振現象・発振条件)	
	9	○ 電力	27	○ 発振回路の種類	
	10	○ 電気と磁気、フレミングの法則	28	○ 電源と負荷、インピーダンス整合	
	11	○ スピーカとマイクロホン、トランス	29	○ 電波の発生、電波の伝わり方	
	12	○ 抵抗器、コンデンサ、コイル	30	○ AM・FM・PCM・デジタル変調	
	13	○ 交流回路におけるL・C・Rの電氣的性質	31	○ 地上デジタルテレビ放送の伝送方式	
	14	○ リアクタンス、インピーダンス	32	○ テレビ放送回線の伝送システムの概要	
	15	○ LCRフィルタ	33	○ 後期末テスト答案返却解答解説& 不合格者対応	
	16	○ フィルタの応用例	34	確認テスト・まとめ1	
	17	○ 共振回路、同調回路	35	確認テスト・まとめ2	
	18	○ 前期末テスト答案返却と解答解説	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	20%			
	口頭質問に対する解答	10%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60 ~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師 プロフィール	各種電子機器・無線機器・レーダーなどの修理技術、学校放送設備などに関する実務経験あり。 職業訓練指導員免許・高等学校教諭免許・家庭電気一級修理技士・電気工事士などの資格あり。				

シラバス

科目名	演出 I		担当者名	合田 典彦	
学科	放送芸術科 放送芸術コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択 必修選択	授業時間数	72時間 (週講時数 2)
授業目的	映像芸術・エンターテイメントにおいて「面白さ」はいかなる価値なのか？ 「面白さ」はいかなる時に、いかなる条件において達成されるのか？これらを先行事例研究と体験型学習を通じて学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	映像制作における「企画立案～演出」の過程を体験することを通じ、 「面白さ」を目的とした作品作りの基礎を理解・習得する。				
授業概要	映像によるフィクション作品(劇映画・ドラマ)の制作過程において、 その全過程の指針となるべき「企画性＝アイデア」の重要性と、その具体化作業としての「演出」の基礎を学ぶ。 主な課題として短編ドラマ撮影実習用の企画・脚本の作成、ドキュメンタリー撮影実習用の企画開発を行う。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	【前期末テスト】小論文	
	2	オリエンテーション2	20	【演出の基礎2】演出効果とは？実例1＝レンズ(講義)	
	3	オリエンテーション3	21	【撮影実習】めまいショットを撮影する	
	4	映像制作過程における 企画作成と演出について(講義)	22	【演出の基礎3】第4の壁と「どんでん」について(講義)	
	5	映像作品の「企画性」について (講義・参考作品上映)	23	【企画性と演出の関係1】 2種類のクライマックス(参考上映)	
	6	【グループ学習】 参考作品の「企画性」を分析・発表	24	【企画性と演出の関係2】 4象限図式による発想(参考上映)	
	7	【グループ学習】各セレクト作品について 「企画性」を分析・発表	25	【演出の基礎4】 演出効果とは？実例2＝アイキャッチ(参考上映)	
	8	【企画の基礎1】 制作条件を逆手に取る方法(講義)	26	【演出の基礎5】 演出効果とは？発展編＝フェティシズム(参考上映)	
	9	ドラマ撮影用企画プレゼン1	27	【企画の基礎2】TVドキュメンタリーにおける企画開発	
	10	ドラマ撮影用企画プレゼン2	28	【グループ学習】取材もの企画プレゼン1	
	11	ドラマ撮影用企画プレゼン3	29	【グループ学習】取材もの企画プレゼン2	
	12	ドラマ撮影用企画・個別指導1	30	【グループ学習】取材もの企画プレゼン3	
	13	ドラマ撮影用企画・個別指導2	31	【グループ学習】取材もの企画プレゼン4	
	14	ドラマ撮影用企画・個別指導3	32	映像業界を志すにあたって知っておくべきこと1(講義)	
	15	【脚本の基礎】劇映画・ドラマ脚本の 書式について(講義)	33	映像業界を志すにあたって知っておくべきこと2 (参考上映)	
	16	ドラマ撮影用脚本・最終個別指導	34	確認テスト・まとめ1	
	17	【演出の基礎1】 段取り決め＝役者の立ち位置と動線(講義)	35	確認テスト・まとめ2	
	18	【小論文テスト解説】 自分の意図を言語化するコツ(講義)	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度	20%			
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60 ～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>30% G<海外体験型学習>0%				
講師 プロフィール	合田典彦(ごうだ のりひこ) /脚本家 ○2011『東京公園』(原作・小路幸也。第64回ロカルノ国際映画祭 金豹賞審査員特別賞) 共同脚本 ○2013『Sweet Sickness』(オランダ カメラジャパンフェスティバル2013出品) 脚本協力 ○2015『NONFIX いまさら都市伝説-皆神山ピラミッド伝説のゆくえ』(フジテレビ・ドキュメンタリ) 構成 ○2016『ウエスト・トウキョウ・ストーリー』脚本・構成 他、インディペンデント映画の脚本・演出、テレビ朝日系情報番組-構成、東映系映像イベント-企画・構成、等多数。				

シラバス

科目名	映像技法		担当者名	鈴木 新吾	
学科	放送芸術科 放送芸術コース		授業方法	講義・実習	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>	授業時間数	72時間 (週講時数2)
授業目的	個人の技術の向上と、自由な発想で映像表現し、他者による評価や反応で表現力を深める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	物語性のある映像作品を個人、少人数で制作し、企画、シナリオ、演出、撮影、編集までの行程を学習し総合的な技術を高める。				
授業概要	前期は個人の技術向上を中心に課題を与え、映像のみで状況や感情を表現する方法を学び、後期には少人数で映像作品を制作しyoutubeなどに公開、自己表現と他者へ向けた映像表現の違いを学ぶ。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	CM作成企画発表	
	2	オリエンテーション2	20	CM制作グループ構成□	
	3	オリエンテーション3	21	CM制作撮影	
	4	ガイダンス	22	CM制作撮影	
	5	カメラの種類、撮影技法(アングル、サイズ)についての講義	23	CM制作撮影、編集	
	6	カメラフォーマットの違い、スマホ撮影の講義(フルHD、4K)	24	CM制作プレビュー、ディスカッション	
	7	個人作成ショートムービー説明、企画	25	CM制作完成プレビュー、総評	
	8	個人作成ショートムービー企画	26	ショートムービー企画	
	9	個人作成ショートムービー企画発表	27	ショートムービー企画	
	10	個人作成ショートムービー撮影	28	ショートムービー撮影準備	
	11	個人作成ショートムービー撮影	29	ショートムービー撮影	
	12	個人作成ショートムービー編集	30	ショートムービー撮影	
	13	個人作成ショートムービー編集	31	ショートムービー撮影、編集	
	14	個人作成ショートムービー発表	32	ショートムービープレビュー	
	15	個人作成ショートムービー発表、総評	33	ショートムービー完成プレビュー、総評□	
	16	CM制作概要説明、企画コンテ作成	34	確認テスト・まとめ1	
	17	CM制作企画コンテ作成	35	確認テスト・まとめ2	
18	CM作成企画発表	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度	30%			
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫60% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫0%				
講師 プロフィール	ミュージックビデオの監督としてキャリアをスタートさせ、現在はニッスイ、資生堂、明治などのWEB CM、SNS広告で監督を務めている。				

シラバス

科目名	ハンニア編集		担当者名	鳥羽 茉李奈	
学科	放送芸術科 放送芸術コース		授業方法	実習・講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>	授業時間数	72時間 (週講時数 2)
授業目的	映像編集で使用されているAdobe社ソフト(PremierePro)の基礎を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	オフラインからオンラインまで編集業務を幅広く理解し、編集作業が行えるようになる。				
授業概要	編集作業では、カメラ、音声、照明、演出、全ての知識が必要であり、またその逆もあるということを映像制作に携わるものとして全員が理解する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	PremierePro トランジションを学ぶ①	
	2	オリエンテーション2	20	PremierePro トランジションを学ぶ②	
	3	オリエンテーション3	21	PremierePro トランジションを学ぶ③	
	4	編集素材・フォルダの管理と整理	22	PremierePro エフェクトを学ぶ①	
	5	素材の読み込みと書き出し	23	PremierePro エフェクトを学ぶ②	
	6	PremierePro 基本設定	24	PremierePro エフェクトを学ぶ③	
	7	PremierePro プロジェクトの管理と整理	25	PremierePro トラッキングを学ぶ①	
	8	PremierePro カット編集①	26	PremierePro トラッキングを学ぶ②	
	9	PremierePro カット編集②	27	PremierePro 加工画面を学ぶ①	
	10	PremierePro カット編集③	28	PremierePro 加工画面を学ぶ②	
	11	PremierePro カラコレ①	29	PremierePro 加工画面を学ぶ③	
	12	PremierePro カラコレ②	30	PremierePro スライドショー作り①	
	13	PremierePro カラコレ③	31	PremierePro スライドショー作り②	
	14	PremierePro テロップ入れ①	32	PremierePro スライドショー作り③	
	15	PremierePro テロップ入れ②	33	後期総括/講評	
	16	PremierePro テロップ入れ③	34	確認テスト・まとめ1	
	17	PremierePro テロップ入れ④	35	確認テスト・まとめ2	
18	前期総括/講評	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度	30%			
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>70% G<<海外体感型学習>>0%				
講師 プロフィール	テロップデザイナー、エディターとしてテレビ制作におけるポスプロダクションで活躍。バラエティー・スポーツ・ドキュメンタリーと、番組のジャンルを問わず幅広く携わっている。				

シラバス

科目名	デジタル画像 I		担当者名	鳥羽 茉李奈	
学科	放送芸術科 放送芸術コース		授業方法	実習・講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択(必修選択)	授業時間数	72時間 (週講時数 2)
授業目的	映像編集で使用されているAdobe社ソフト(Photoshop/AfterEffects)の基礎を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	テレビ番組制作に必要な静止画の加工や加工画面、簡単なCGを学び、作成する。				
授業概要	映像作品に必要な“撮影動画以外の素材”を作り出す技術の習得				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	Photoshop レイヤースタイルを学ぶ	
	2	オリエンテーション2	20	Photoshop スマートオブジェクトを学ぶ	
	3	オリエンテーション3	21	Photoshop 写真加工(定規/トリミング)	
	4	Photoshop 基本操作	22	Photoshop パターンの定義を学ぶ	
	5	Photoshop 写真加工(カラコレ/切り抜き)	23	Photoshop レイヤーマスクとベクトルマスク	
	6	Photoshop 合成	24	IllustratorからPhotoshopへ	
	7	Photoshop エフェクト操作	25	Photoshop 自己紹介画面の作成①	
	8	Photoshop 文字作成	26	Photoshop 自己紹介画面の作成②	
	9	Photoshop タイトルロゴ作成	27	Photoshop 自己紹介画面の作成③	
	10	Photoshop タイトル画面作成	28	AfterEffects パーティクルを学ぶ	
	11	AfterEffects 基本操作	29	AfterEffects スライドショー作り①	
	12	AfterEffects キーフレームの学習①	30	AfterEffects スライドショー作り②	
	13	AfterEffects キーフレームの学習②	31	AfterEffects スライドショー作り③	
	14	AfterEffects ヌルとカメラの学習①	32	AfterEffects スライドショー作り④	
	15	AfterEffects ヌルとカメラの学習②	33	後期総括/講評	
	16	AfterEffects タイトル画面を動画にする①	34	確認テスト・まとめ1	
	17	AfterEffects タイトル画面を動画にする②	35	確認テスト・まとめ2	
18	前期総括/講評	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度	30%			
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~ 69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫70% G≪海外体感型学習≫0%				
講師 プロフィール	テロップデザイナー、エディターとしてテレビ制作におけるポストプロダクションで活躍。バラエティー・スポーツ・ドキュメンタリーと、番組のジャンルを問わず幅広く携わっている。				

シラバス

科目名	制作実習 I		担当者名	古川 農 相澤 一喜 秋元 孝夫 荻原 邦昭 藤田 亜美	
学科	放送芸術科 放送芸術コース		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	12単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修 ・選択・必修選択	授業時間数	216時間 (週講時数 6)
授業目的	映像制作の過程をそれぞれのセクションを通して理解を深め、自らで映像制作できることを目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	映像制作における基礎である4つのセクションを学び、映像制作の過程を通して、 目指したい職種を見極める力、コミュニケーション力を身に付ける。				
授業概要	授業形式は実習を基本とし、基礎とある授業では、4つのセクション(演出・制作/撮影/照明/音声)に分かれ全てのセクションを学修する。インタビューやドラマなどは、1つの作品の制作過程を一連で学習していく。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション1	19	ドラマ実習③テスト撮影②	
	2	オリエンテーション2	20	ドラマ実習④撮影①	
	3	オリエンテーション3	21	ドラマ実習⑤撮影②	
	4	授業ガイダンス/自己紹介	22	ドラマ実習⑥編集①	
	5	ロケ基礎①	23	ドラマ実習⑥編集②	
	6	ロケ基礎②	24	ドラマ実習⑦完パケ/プレビュー	
	7	ロケ基礎③	25	スタジオ基礎実習①	
	8	ロケ基礎④	26	スタジオ基礎実習②	
	9	インタビュー実習①準備①	27	スタジオ基礎実習③	
	10	インタビュー実習②準備②/テスト撮影	28	スタジオ基礎実習④	
	11	インタビュー実習③撮影	29	スタジオ実習①企画/準備①	
	12	インタビュー実習④編集①	30	スタジオ実習②準備②	
	13	インタビュー実習⑤編集②	31	スタジオ実習③位置決め	
	14	インタビュー実習⑥完パケ/プレビュー	32	スタジオ実習④ドライRH	
	15	ドラマ基礎①	33	スタジオ実習⑤カメラRH/本番	
	16	ドラマ基礎②	34	確認テスト・まとめ1	
	17	ドラマ実習①準備①	35	確認テスト・まとめ2	
18	ドラマ実習②準備②/テスト撮影①	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	レポートの返却 作品ごとの講評	
	学習態度	20%			
	レポート	80%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体験型学習>>0%				
講師 プロフィール	担当教員は各セクションを次のように担当する。 演出・制作…相澤 一喜 / 撮影…荻原 邦昭、古川 農 / 音声…秋元 孝夫 / 照明…藤田 亜美				

シラバス

科目名	ビジネスソフト		担当者名	鎌倉 規匠	
学科	放送芸術科 放送芸術コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択 <u>必修選択</u>	授業時間数	72時間 (週講時数2)
授業目的	学科及び卒業後も必要とされる事務及び制作に欠かせない作業を踏まえての基本操作の習得				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	PCで書面作成も楽になる				
授業概要	座学が基本。教科書に沿って説明し、その他必要な操作は課題等で補いながらPCに於ける基本操作を習得する。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション1	19	パワーポイント動画作成・発表①	
	2	オリエンテーション2	20	パワーポイント動画発表②	
	3	オリエンテーション3	21	パワーポイント動画発表②	
	4	講義概要・予定説明、キーボード操作	22	パワーポイント動画発表③	
	5	ブラインドタッチ・タイピング・Word基本操作・保存	23	パワーポイント動画発表④ まとめ	
	6	文字入力(和文・英文)・基本的なショートカットキーの利用	24	Excelの概要・基本操作①文字・数値入力	
	7	特殊文字・フォントについて・ページレイアウト	25	基本操作②オートフィルブックとシート	
	8	ビジネス文書の形式・マナー・記号・文・時節・あいさつ文	26	表の作成入力・関数	
	9	ビジネス文書制作表の挿入・削除・結合その他、装飾	27	関数①	
	10	区切り・セクション区切りの利用・縦書き・テキストボックス利用	28	関数②	
	11	ワードアート・図形の挿入・ドロップキャップの利用	29	フィルター・RANK・検索・置換	
	12	チラシ制作課題	30	行・列の挿入・削除表示非表示	
	13	復習課題	31	表データを利用したグラフ作成・グラフ概要説明・データの追加	
	14	パワーポイント概要説明・スライド制作・テーマ	32	グラフ要素の追加・レイアウト・グラフ・スタイルの変更	
	15	ワードアート・画像・音楽挿入	33	復習課題	
	16	アニメーション・画像切り替え	34	確認テスト・まとめ1	
	17	スライドショーとは？ヘッダーフッター・リハーサル・保存方法	35	確認テスト・まとめ2	
	18	パワーポイント動画作成	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度	15%			
	レポート	15%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫0%				
講師プロフィール	座学を基本とし、課題などを通して積極的にPCにおける苦手意識を実践でも活かすことの出来るスキルに変える。MOS資格を保持。座学ではあるが、一方的にならないよう、生徒とのコミュニケーションを計りながら、個々の疑問点を一緒に解決出来るように。				

シラバス

科目名	基礎ゼミIA		担当者名	古川 農 相澤 一喜 鈴木 新吾		
学科	放送芸術科 放送芸術コース		授業方法	実習		
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>	授業時間数	36時間 (週講時数1)	
授業目的	自分自身を映像で表現することを通して、主体的に挑戦する力を養う。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	自分自身を映像で表現することを通して、自己理解を図る。また、他者の作品を見ることにより、他者への理解を深める。それらに主体的に挑戦することで、主体的に挑戦する力を養う					
授業概要	前期は、個人での映像作成を通して、自己理解を図る。合わせて他者への理解を深める。 後期は、少人数グループでの映像制作を通して、自己表現との違いを学ぶ。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション1	19	CM作成企画発表		
	2	オリエンテーション2	20	CM制作グループ構成□		
	3	オリエンテーション3	21	CM制作撮影		
	4	ガイダンス	22	CM制作撮影		
	5	カメラの種類、撮影技法(アングル、サイズ)についての講義	23	CM制作撮影、編集		
	6	カメラフォーマットの違い、スマホ撮影の講義(フルHD、4K)	24	CM制作プレビュー、ディスカッション		
	7	個人作成ショートムービー説明、企画	25	CM制作完成プレビュー、総評		
	8	個人作成ショートムービー企画	26	ショートムービー企画		
	9	個人作成ショートムービー企画発表	27	ショートムービー企画		
	10	個人作成ショートムービー撮影	28	ショートムービー撮影準備		
	11	個人作成ショートムービー撮影	29	ショートムービー撮影		
	12	個人作成ショートムービー編集	30	ショートムービー撮影		
	13	個人作成ショートムービー編集	31	ショートムービー撮影、編集		
	14	個人作成ショートムービー発表	32	ショートムービープレビュー		
	15	個人作成ショートムービー発表、総評	33	ショートムービー完成プレビュー、総評□		
	成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度	30%			
レポート		70%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格		
合計		100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>0%					
講師 プロフィール	鈴木 新吾…ミュージックビデオの監督としてキャリアをスタートさせ、現在はニッスイ、資生堂、明治などのWEB CM、SNS広告で監督を務めている。					

シラバス

科目名	ビジネススキルⅡ		担当者名	相澤 一喜	
学科	放送芸術科 放送芸術コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修 ・選択・必修選択	授業時間数	36時間 (週講時数1)
授業目的	社会人としての知識やルールを身に付け、卒業後、社会人として恥ずかしくないような知識を身に付ける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	社会人としてのビジネススキルと一般教養を身につける事を目標とする。				
授業概要	就職指導を主とし、ビジネススキルと一般教養を身に付ける。 一般常識テスト、SPIテスト、グループワーク、個人面談、就職指導、業界理解、情報共有など。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	一般常識テスト③	
	2	オリエンテーション2	20	テクノス祭準備/情報共有	
	3	オリエンテーション3	21	テクノス祭準備/情報共有	
	4	一般常識テスト①	22	テクノス祭準備/情報共有	
	5	就職活動の流れ確認/企業調査・業界研究	23	SPIテスト③	
	6	就職用提出書類について/企業調査・業界研究	24	グループワーク	
	7	エントリーシートの書き方/企業調査・業界研究	25	グループワーク	
	8	SPIテスト①	26	グループワーク	
	9	自己PRシートの書き方/企業調査・業界研究	27	一般常識テスト④	
	10	就職試験(面接)でのポイント・ルール①	28	テクノス展準備/情報共有	
	11	就職試験(面接)でのポイント・ルール②	29	テクノス展準備/情報共有	
	12	一般常識テスト②	30	テクノス展準備/情報共有	
	13	企業調査・業界研究	31	テクノス展準備/情報共有	
	14	企業調査・業界研究	32	テクノス展準備/情報共有	
	15	就職活動報告・提出書類について	33	テクノス展準備/情報共有	
	16	SPIテスト②	34	確認テスト・まとめ1	
	17	グループワーク	35	確認テスト・まとめ2	
18	グループワーク	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	授業ごとの講評	
	学習態度	100%			
	レポート	0%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>0%				
講師 プロフィール	担当教員は放送芸術科の選任教員。アシスタントディレクター、Web送出オペレーター、編集オペレーターなどの実務経験がある。				

シラバス

科目名	制作実習Ⅱ		担当者名	古川 農 相澤 一喜 日原 進太郎 鈴木 新吾 荻原 邦昭	
学科	放送芸術科 放送芸術コース		授業方法	実技	
認定単位 開講学年	30単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修 ・選択・必修選択	授業時間数	540時間 (週講時数 15)
授業目的	制作チーム内に加え、チーム外(地域や他学科など)の人たちとのコミュニケーションを通して、TPOに合わせたコミュニケーション力を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1年次に学んだ映像制作の基礎を生かし、企画～撮影～編集～納品という一連の政策過程を学生主導で行う。 他学科・企業・自治体への取材や撮影を積極的に取り入れ、主体性・コミュニケーション能力・知識・技術を身に付ける。 また、作品を外部へ発信することで、責任感を与え、質の高い作品制作を行う事を目標とする。				
授業概要	前期は国分寺市から依頼を受けた「国分寺市PR動画」制作を行う。 後期はジャンルを問わず、学生自らが企画した作品を制作する。 演出/制作/撮影/音声/照明/編集などの希望職種に分かれ、企画～撮影～編集～納品というスケジュールを 前期/後期にそれぞれ行う。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション1	19	【プリプロダクション】企画開発／準備①	
	2	オリエンテーション2	20	【プリプロダクション】企画開発／準備②	
	3	オリエンテーション3	21	【プリプロダクション】企画開発／準備③	
	4	【プリプロダクション】企画開発／事前取材①	22	【プリプロダクション】企画開発／準備④	
	5	【プリプロダクション】企画開発／事前取材②	23	【プロダクション】撮影①	
	6	【プリプロダクション】企画開発／事前取材③	24	【プロダクション】撮影②	
	7	【プリプロダクション】企画開発／事前取材④	25	【プロダクション】撮影③	
	8	【プロダクション】撮影①	26	【プロダクション】撮影④	
	9	【プロダクション】撮影②	27	【プロダクション】撮影⑤	
	10	【プロダクション】撮影③	28	【プロダクション】撮影⑥	
	11	【プロダクション】撮影④	29	【ポストプロダクション】編集①	
	12	【プロダクション】撮影⑤	30	【ポストプロダクション】編集②	
	13	【プロダクション】撮影⑥	31	【ポストプロダクション】編集③(試写)	
	14	【ポストプロダクション】編集①	32	【ポストプロダクション】編集④	
	15	【ポストプロダクション】編集②	33	【ポストプロダクション】編集⑤(完パケ・納品)	
	16	【ポストプロダクション】編集③(試写)	34	確認テスト・まとめ1	
	17	【ポストプロダクション】編集④	35	確認テスト・まとめ2	
18	【ポストプロダクション】編集⑤(完パケ・納品)	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	作品ごとの講評	
	学習態度	100%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79 点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体験型学習>>10%				
講師 プロフィール	担当教員は各セクションを次のように担当する。 演出・制作…日原 進太郎、鈴木 新吾、相澤 一喜 / 技術…荻原 邦昭、古川 農				

シラバス

科目名	課題研究Ⅱ		担当者名	鈴木 新吾	
学科	放送芸術科 放送芸術コース		授業方法	講義・実習	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択 <u>必修選択</u>	授業時間数	72時間 (週講時数2)
授業目的	個人の技術の向上と、自由な発想で映像表現し、他者による評価や反応で表現力を深める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	物語性のある映像作品を個人、少人数で制作し、企画、シナリオ、演出、撮影、編集までの行程を学習し総合的な技術を高める。				
授業概要	前期は個人の技術向上を中心に課題を与え、映像のみで状況や感情を表現する方法を学び、後期には少人数で映像作品を制作しyoutubeなどに公開、自己表現と他者へ向けた映像表現の違いを学ぶ。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	CM作成企画発表	
	2	オリエンテーション2	20	CM制作グループ構成□	
	3	オリエンテーション3	21	CM制作撮影	
	4	ガイダンス、個人作成ショートムービー①説明・企画	22	CM制作撮影	
	5	個人作成ショートムービー①企画発表	23	CM制作撮影、編集	
	6	個人作成ショートムービー①撮影	24	CM制作プレビュー、ディスカッション	
	7	個人作成ショートムービー①編集	25	CM制作完成プレビュー、総評	
	8	個人作成ショートムービー①発表	26	ショートムービー企画	
	9	個人作成ショートムービー①発表、総評	27	ショートムービー企画	
	10	個人作成ショートムービー②説明、企画	28	ショートムービー撮影準備	
	11	個人作成ショートムービー②企画発表	29	ショートムービー撮影	
	12	個人作成ショートムービー②撮影	30	ショートムービー撮影	
	13	個人作成ショートムービー②編集	31	ショートムービー撮影、編集	
	14	個人作成ショートムービー②発表	32	ショートムービープレビュー	
	15	個人作成ショートムービー②発表、総評	33	ショートムービー完成プレビュー、総評□	
	16	CM制作概要説明、企画作成	34	確認テスト・まとめ1	
	17	CM制作企画コンテ作成	35	確認テスト・まとめ2	
18	CM作成企画コンテ発表	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度	30%			
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫60% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫0%				
講師 プロフィール	ミュージックビデオの監督としてキャリアをスタートさせ、現在はニッスイ、資生堂、明治などのWEB CM、SNS広告で監督を務めている。				

シラバス

科目名	演出Ⅱ		担当者名	合田 典彦			
学科	放送芸術科 放送芸術コース		授業方法	講義			
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択(必修選択)	授業時間数	72時間 (週講時数 2)		
授業目的	映像制作の現場に制作者として、スタッフとして、主体的に関わるための「クリエイティビティ=創造性」について、先行事例研究と体験型学習を通じて学ぶ。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	映像制作における「企画立案～演出」の過程を体験することを通じ、「新しい映像作品・番組」を作るための基礎を理解・習得する。						
授業概要	「企画制作」の授業と連動して行う。 映像によるフィクション作品(劇映画・ドラマ)を主な具体例とし、映像制作過程の指針である「演出」についての概論を学ぶ。課題として卒業制作実習用の企画開発・脚本・構成の作成、および、通年授業の習得度を研究発表の形でプレゼンテーションすることを課する。						
授業計画表	授業内容			授業内容			
	1	オリエンテーション1	19	【演出・中級編5】パンショットとドリーショット			
	2	オリエンテーション2	20	ワンシーン＝ワンカット撮影実習			
	3	オリエンテーション3	21	【演出・中級編6】立ち位置と動線。境界線を引く			
	4	【企画性と演出を結ぶ1】モチーフについて1	22	【演出・中級編7】ありえないカメラポジション。非日常の視線			
	5	【企画性と演出を結ぶ2】ドラマ実習講評。トリック作品セレクション。	23	【脚本と演出1】優れた脚本の4条件。			
	6	【演出・中級編1】会話シーンを映像的に撮影する工夫	24	【脚本と演出2】ハリウッドメソッドについて。脚本の縦軸			
	7	トリック撮影実習	25	【脚本と演出3】グレマスの行為項モデル。脚本の横軸			
	8	【演出・中級編2】イマジナリーラインを演出に生かす	26	【脚本と演出4】二つのプロットライン			
	9	【企画・中級編】テーマと世界観について	27	予備日・研究発表準備			
	10	【グループ学習】卒業制作実習用、企画開発1	28	【グループ学習】A班研究発表			
	11	【グループ学習】卒業制作実習用、企画開発2	29	【グループ学習】B班研究発表			
	12	【グループ学習】卒業制作実習用、企画開発3	30	【グループ学習】C班研究発表			
	13	【個別指導】ドラマ企画過去作品の参考上映、解説	31	【グループ学習】D班研究発表			
	14	【個別指導】企画もの過去作品の参考上映、解説	32	【グループ学習】F班研究発表			
	15	【個別指導】ドラマ企画・脚本指導	33	【企画と演出を結ぶ・実践編】映像フィクションの最前線			
	16	【個別指導】企画もの構成指導	34	確認テスト・まとめ1			
	17	【演出・中級編3】選定作品発表。良い演技を引き出す	35	確認テスト・まとめ2			
	18	【演出・中級編4】演出における撮影・照明(録音)の工夫	36	確認テスト・まとめ3			
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	個別講評シート配布 前期・後期 成績表送付			
	学習態度	30%					
	レポート	70%	成績評価			出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60 ～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%					
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>0%						
講師 プロフィール	合田典彦(ごうだ のりひこ) /脚本家 ○2011『東京公園』(原作・小路幸也。第64回ロカルノ国際映画祭 金豹賞審査員特別賞) 共同脚本 ○2013『Sweet Sickness』(オランダ カメラジャパンフェスティバル2013出品) 脚本協力 ○2015『NONFIX いまさら都市伝説-皆神山ピラミッド伝説のゆくえ』(フジテレビ・ドキュメンタリ) 構成 ○2016『ウエスト・トウキョウ・ストーリー』脚本・構成 他、インディペンデント映画の脚本・演出、テレビ朝日系情報番組-構成、東映系映像イベント-企画・構成、等多数。						

シラバス

科目名	デジタル画像Ⅱ		担当者名	小泉 みのり	
学科	放送芸術科 放送芸術コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択(必修選択)	授業時間数	72時間 (週講時数2)
授業目的	テレビ制作の基礎知識、映像知識を身に付ける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	テレビデザインの基礎知識を理解し、近年メディアの多様化、移り変わりへの対応策など考案できる人材を育て、現場に出た時に即戦力となる人材を目標とする。				
授業概要	テレビ放送の基礎知識。制作・撮影・編集などそれに伴う知識を座学形式で行う。 撮影基礎知識から映像の原理などメディア技術。 また、近年のメディアの変化、対応など技術的に説明。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	文字テロップのデザイン4 文字効果	
	2	オリエンテーション2	20	コピー制御	
	3	オリエンテーション3	21	企画書	
	4	ファーストカット	22	収録フォーマット	
	5	基本的カメラワークの効果	23	アップコンバート	
	6	香盤表	24	ダウンコンバート	
	7	セーフティエリア / フレームレート	25	構図の重要性	
	8	インターレース / フリッカー	26	クレジット&キューシート	
	9	ドロップフレームタイムコード	27	3D映像の原理と方式	
	10	HDTVの基礎知識	28	キャッチコピー	
	11	SDTVとHDTVの違い	29	HDの種類	
	12	キーイング	30	著作権表示	
	13	色の属性 / ベクトルデータとビットマップ	31	広告効果	
	14	画面サイズとピクセル縦横比 / HDの種類	32	国内放送基準	
	15	映像表現のガイドライン	33	後期期末試験対策(総復習)	
	16	文字テロップのデザイン1 情報デザイン	34	確認テスト・まとめ1	
	17	文字テロップのデザイン2 レイアウト	35	確認テスト・まとめ2	
18	文字テロップのデザイン3 人名字取り	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	100%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度	0%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>35% A<<主体的参加型学習>>35% G<<海外体感型学習>>0%				
講師 プロフィール	CM,PV,イベント,テレビ,アニメ,映画祭のOPCG等、数々の作品でマルチに活躍。 現在フリーランスとして活動。				

シラバス

科目名	企画制作		担当者名	合田 典彦	
学科	放送芸術科 放送芸術コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択(必修選択)	授業時間数	72時間 (週講時数 2)
授業目的	映像制作の現場に制作者として、スタッフとして、主体的に関わるための「クリエイティビティ=創造性」について、先行事例研究と体験型学習を通じて学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	映像制作における「企画立案～演出」の過程を体験することを通じ、「新しい映像作品・番組」を作るための基礎を理解・習得する。				
授業概要	「演出Ⅱ」の授業と連動して行う。 映像によるフィクション作品(劇映画・ドラマ)を主な具体例とし、映像制作過程の指針である「企画開発」についての概論を学ぶ。課題として卒業制作実習用の企画開発・脚本・構成の作成、および、通年授業の習得度を研究発表の形でプレゼンテーションすることを課する。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	【演出・中級編5】パンショットとドリーショット	
	2	オリエンテーション2	20	ワンシーン＝ワンカット撮影実習	
	3	オリエンテーション3	21	【演出・中級編6】立ち位置と動線。境界線を引く	
	4	【企画性と演出を結ぶ1】モチーフについて1	22	【演出・中級編7】ありえないカメラポジション。非日常の視線	
	5	【企画性と演出を結ぶ2】ドラマ実習講評。トリック作品セレクション。	23	【脚本と演出1】優れた脚本の4条件。	
	6	【演出・中級編1】会話シーンを映像的に撮影する工夫	24	【脚本と演出2】ハリウッドメソッドについて。脚本の縦軸	
	7	トリック撮影実習	25	【脚本と演出3】グレマスの行為項モデル。脚本の横軸	
	8	【演出・中級編2】イマジナリーラインを演出に生かす	26	【脚本と演出4】二つのプロットライン	
	9	【企画・中級編】テーマと世界観について	27	予備日・研究発表準備	
	10	【グループ学習】卒業制作実習用、企画開発1	28	【グループ学習】A班研究発表	
	11	【グループ学習】卒業制作実習用、企画開発2	29	【グループ学習】B班研究発表	
	12	【グループ学習】卒業制作実習用、企画開発3	30	【グループ学習】C班研究発表	
	13	【個別指導】ドラマ企画過去作品の参考上映、解説	31	【グループ学習】D班研究発表	
	14	【個別指導】企画もの過去作品の参考上映、解説	32	【グループ学習】F班研究発表	
	15	【個別指導】ドラマ企画・脚本指導	33	【企画と演出を結ぶ・実践編】映像フィクションの最前線	
	16	【個別指導】企画もの構成指導	34	確認テスト・まとめ1	
	17	【演出・中級編3】選定作品発表。良い演技を引き出す	35	確認テスト・まとめ2	
18	【演出・中級編4】演出における撮影・照明(録音)の工夫	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	個別講評シート配布 前期・後期 成績表送付	
	学習態度	30%			
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60 ～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>0%				
講師 プロフィール	合田典彦(ごうだ のりひこ) /脚本家 ○2011『東京公園』(原作・小路幸也。第64回ロカルノ国際映画祭 金豹賞審査員特別賞) 共同脚本 ○2013『Sweet Sickness』(オランダ カメラジャパンフェスティバル2013出品) 脚本協力 ○2015『NONFIX いまさら都市伝説-皆神山ピラミッド伝説のゆくえ』(フジテレビ・ドキュメンタリ) 構成 ○2016『ウエスト・トウキョウ・ストーリー』脚本・構成 他、インディペンデント映画の脚本・演出、テレビ朝日系情報番組・構成、東映系映像イベント企画・構成、等多数。				

シラバス

科目名	応用ゼミⅡA		担当者名	古川 農 相澤 一喜 日原 進太郎	
学科	放送芸術科 放送芸術コース		授業方法	実技	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	36時間 (週講時数1)
授業目的	チームで映像制作を行うことで、チームで制作する上で必要なコミュニケーション力を学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	企画～撮影～編集～納品という一連の制作過程をチームで行うことにより、チーム制作に必要なコミュニケーションを学ぶ。 また、他学科・企業・自治体への取材や撮影を積極的に取り入れ、他学科・学外とのコミュニケーションを行うことで、 それぞれに必要なコミュニケーション力を養う。				
授業概要	前期は国分寺市から依頼を受けた「国分寺市PR動画」制作を行う。 後期はジャンルを問わず、学生自らが企画した作品を制作する。 演出/制作/撮影/音声/照明/編集などの希望職種に分かれ、 企画～撮影～編集～納品というスケジュールを前期/後期にそれぞれ行う。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	【プリプロダクション】企画開発／準備①	
	2	オリエンテーション2	20	【プリプロダクション】企画開発／準備②	
	3	オリエンテーション3	21	【プリプロダクション】企画開発／準備③	
	4	【プリプロダクション】企画開発／事前取材①	22	【プリプロダクション】企画開発／準備④	
	5	【プリプロダクション】企画開発／事前取材②	23	【プロダクション】撮影①	
	6	【プリプロダクション】企画開発／事前取材③	24	【プロダクション】撮影②	
	7	【プリプロダクション】企画開発／事前取材④	25	【プロダクション】撮影③	
	8	【プロダクション】撮影①	26	【プロダクション】撮影④	
	9	【プロダクション】撮影②	27	【プロダクション】撮影⑤	
	10	【プロダクション】撮影③	28	【プロダクション】撮影⑥	
	11	【プロダクション】撮影④	29	【ポストプロダクション】編集①	
	12	【プロダクション】撮影⑤	30	【ポストプロダクション】編集②	
	13	【プロダクション】撮影⑥	31	【ポストプロダクション】編集③(試写)	
	14	【ポストプロダクション】編集①	32	【ポストプロダクション】編集④	
	15	【ポストプロダクション】編集②	33	【ポストプロダクション】編集⑤(完パケ・納品)	
	16	【ポストプロダクション】編集③(試写)	34	確認テスト・まとめ1	
	17	【ポストプロダクション】編集④	35	確認テスト・まとめ2	
	18	【ポストプロダクション】編集⑤(完パケ・納品)	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	作品ごとの講評	
	学習態度	100%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79 点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%				
講師 プロフィール	担当教員は各セッションを次のように担当する。 演出・制作…日原 進太郎、相澤 一喜 / 技術…古川 農				

シラバス

科目名	ビジネススキル I		担当者名	古川 農	
学科	放送芸術科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修 ・選択・必修選択	授業時間数	36時間 (週講時数1)
授業目的	社会人としての知識やルールを身に付け、就職活動を有利に進めるために行う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	社会人としてのビジネススキルと一般教養を身につける事を目標とする。 また、就職活動に向け、就職活動に必要な知識も身につけていく。				
授業概要	基本的に座学を基本とし、社会人として必要な知識やマナーを学ぶ。また、映像制作においてチームで働くことが多くなるため、チームで働いていくときのルールやマナーも学んでいく。 合わせてチームワークを養うために実践的な内容も取り入れてゆく。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	映像業界における就職活動①	
	2	オリエンテーション2	20	映像業界における就職活動②	
	3	オリエンテーション3	21	一般常識テスト⑥	
	4	一般常識テスト①	22	就職ガイダンス①	
	5	敬語の使い方①	23	就職ガイダンス②	
	6	敬語の使い方②	24	就職ガイダンス③	
	7	一般常識テスト②	25	就職ガイダンス④	
	8	メールの書き方	26	一般常識テスト⑦	
	9	電話の掛け方	27	履歴書の書き方①	
	10	一般常識テスト③	28	履歴書の書き方②	
	11	組織で必要なルールとマナー①	29	一般常識テスト⑧	
	12	組織で必要なルールとマナー②	30	履歴書の書き方③	
	13	一般常識テスト④	31	履歴書の書き方④	
	14	チームで働くとは①	32	一般常識テスト⑨	
	15	チームで働くとは②	33	次年度に向けて 先輩としての心構え・後輩とのチーム作り	
	16	一般常識テスト⑤	34	確認テスト・まとめ1	
	17	チームワークを養う I ①	35	確認テスト・まとめ2	
	18	チームワークを養う I ②	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	授業ごとの講評	
	学習態度	100%			
	レポート	0%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>0%				
講師 プロフィール	担当教員は放送芸術科の専任教員。 映像制作会社で撮影技術スタッフを経験後、フリーのカメラマンとして活動しながら、本校で講師としても活動していた。				

シラバス

科目名	音響		担当者名	秋元 孝夫	
学科	放送芸術科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間 (週講時数 2)
授業目的	テレビ、放送、ポストプロダクション業界に必要な音声、音響に関する知識、理論を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	実際に聞こえる音(心理音響)～電気音響(アナログ信号)～デジタル分野、無線電波まで音に関する基礎的な知識を広く身につける。				
授業概要	講義形式で展開、第一録音スタジオ、TVスタジオ等にて一部実演あり。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	インピーダンス	
	2	オリエンテーション2	20	インピーダンスの整合	
	3	オリエンテーション3	21	音声分配、分岐システム、ADA、スプリッタ	
	4	音について	22	中継、収録システム	
	5	音の三要素	23	スタジオマルチトラック録音	
	6	音の聞こえ方、感じ方、人の聴覚特性	24	ダイナミクスエフェクトについて、コンプ、リミッタ、ゲート、エキスパンダ	
	7	音波、波長、波形	25	サラウンドシステム	
	8	音声信号＝電気信号	26	デジタルオーディオ	
	9	バランス回路、伝送、位相について	27	デジタルオーディオ伝送、記録	
	10	電気を音にする、スピーカーのしくみ	28	デジタルオーディオデータ、ファイル	
	11	スピーカーシステム	29	FPU/ワイヤレスシステム	
	12	音を電気に変える、マイクの種類、用途	30	FPU/ワイヤレスシステム	
	13	ダイナミックマイクの仕組み、特性、用途	31	MAについて	
	14	コンデンサマイクのしくみ、特性、用途	32	MAの概念と作業の進め方	
	15	音の大きさ、デシベル、	33	適正テレビ音声/ラウドネスレベル	
	16	マイクレベル、ラインレベル、スピーカーレベル	34	確認テスト・まとめ1	
	17	PAシステムについて	35	確認テスト・まとめ2	
	18	増幅回路、各種アンプ、その必要性	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度	20%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫70% G≪海外体験型学習≫10%				
講師 プロフィール	現役フリーランスエンジニア、ライブ/コンサート収録、PA、スタジオ録音等をこなす。 職務経歴30年以上の経験で、業界に必要な知識と理論を伝える。				

シラバス

科目名	照明		担当者名	柳戸 勲	
学科	放送芸術科 大学コース		授業方法	講義・実習	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間 (週講時数2)
授業目的	放送業界で必要な照明に関する知識を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	放送業界で必要となる照明に関する知識に加え、 放送業界のスタッフの一員として照明および裏方(スタッフ)の心構え、良識ある人間性の確立を目指す。				
授業概要	「学び」「考え」「行動」を最大のテーマとして捉え、社会性豊かな学生を育成する。 スタッフとしてのチームプレー、チームワークの必要性を理解し作品制作の実務を修得する。 「舞台TV照明」基礎編を中心とした講義形式を基本とする。 経験と実績に基づいて作成した資料を配布し、説明。約4時間を使い、スタジオにて機材を使い照明実習。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	光について①照明工学、ルクス・カンデラ等	
	2	オリエンテーション2	20	光について②太陽光のスペクトル	
	3	オリエンテーション3	21	TV用語の解説(配布資料あり)	
	4	照明とは？光について、色との違い	22	舞台美術、演出、照明についての用語解説	
	5	上演芸術の歴史について	23	安全対策について	
	6	劇場機構と照明設備について①	24	事故防止につながる基礎	
	7	劇場機構と照明設備について②	25	TVスタッフの役割について① P、D、ADの仕事と役割	
	8	テレビスタジオの機構と設備について①	26	TVスタッフの役割について② CA、L、AD、TK等の仕事と役割	
	9	テレビスタジオの機構と設備について②	27	CMグラフィティについて	
	10	テレビスタジオの機構と設備について③	28	TVの仕事、スタジオ・ロケーションにおける ドラマの照明	
	11	テレビ照明の特徴と技法、色温度	29	音楽番組の照明、中継、報道、CMの照明	
	12	テレビ用語について	30	スタジオにて照明実習① レバノンを使って三点照明をモニターを通して見る	
	13	3点照明について	31	スタジオにて照明実習② スタンドに灯体を乗せ、光の三原色・エフェクトライトを見る	
	14	スタジオに於ける照明の仕事	32	ドラマにおけるアイライト(強調する明かり)の説明	
	15	ロケーションに於ける照明の仕事	33	色彩について 加法混色・減法混色について	
	16	照明機器、電球、フィルターについて	34	確認テスト・まとめ1	
	17	電気工学について① オームの法則、電力計算	35	確認テスト・まとめ2	
18	電気工学について② 絶縁体について	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	90%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度	10%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~ 69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>10% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>90% G<海外体感型学習>0%				
講師 プロフィール	柳戸 勲…現役の、舞台(バレエ、オペラ、語り、シャンソン等)を中心としている照明家。体験を基に広くスタッフ養成への授業を展開する。				

シラバス

科目名	放送技術 I		担当者名	青沼 俊雄	
学科	放送芸術科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期 <u>通年</u> 必修・選択 <u>必修選択</u>	授業時間数	72時間 (週講時数 2)
授業目的	メカトロニクスに強いソフトエンジニアになれるよう、電気の基本的な知識が身に付くことを目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	電気は目に見えなく解りづらいので、いかに解りやすく進めるかが大きなポイントとなるので、これを頭に入れて進めたい。				
授業概要	電気ので、から始まり、電圧・電流・抵抗・直流・交流・位相・リアクタンス・インピーダンスといった基礎的な内容を。後半は、ダイオード・トランジスタ・増幅器・発振回路・電波伝搬・AM・FM・PCM・デジタル変調・テレビ放送の伝送方式・放送回線の伝送システムなど応用的な内容について行う。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	○ 最も簡単な電源回路	
	2	オリエンテーション2	20	○ 安定化電源(レギュレータ)回路	
	3	オリエンテーション3	21	○ ダイオード	
	4	○ 電気の発見、電気の正体	22	○ トランジスタと増幅の概念	
	5	○ 電圧・電流・抵抗・導体と不導体	23	○ 増幅器の基本	
	6	○ 直流と交流	24	○ OPアンプを含めた応用の一例	
	7	○ 最も簡単な電気回路、オームの法則	25	○ デシベルについて	
	8	○ 抵抗の直・並列接続と分圧・分流	26	○ 発振回路(発振現象・発振条件)	
	9	○ 電力	27	○ 発振回路の種類	
	10	○ 電気と磁気、フレミングの法則	28	○ 電源と負荷、インピーダンス整合	
	11	○ スピーカとマイクロホン、トランス	29	○ 電波の発生、電波の伝わり方	
	12	○ 抵抗器、コンデンサ、コイル	30	○ AM・FM・PCM・デジタル変調	
	13	○ 交流回路におけるL・C・Rの電氣的性質	31	○ 地上デジタルテレビ放送の伝送方式	
	14	○ リアクタンス、インピーダンス	32	○ テレビ放送回線の伝送システムの概要	
	15	○ LCRフィルタ	33	○ 後期末テスト答案返却解答解説& 不合格者対応	
	16	○ フィルタの応用例	34	確認テスト・まとめ1	
	17	○ 共振回路、同調回路	35	確認テスト・まとめ2	
	18	○ 前期末テスト答案返却と解答解説	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	20%			
	口頭質問に対する解答	10%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60 ~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師 プロフィール	各種電子機器・無線機器・レーダーなどの修理技術、学校放送設備などに関する実務経験あり。 職業訓練指導員免許・高等学校教諭免許・家庭電気一級修理技士・電気工事士などの資格あり。				

シラバス

科目名	演出 I		担当者名	合田 典彦			
学科	放送芸術科 大学コース		授業方法	講義			
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択 必修選択	授業時間数	72時間 (週講時数 2)		
授業目的	映像芸術・エンターテインメントにおいて「面白さ」はいかなる価値なのか？ 「面白さ」はいかなる時に、いかなる条件において達成されるのか？これらを先行事例研究と体験型学習を通じて学ぶ。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	映像制作における「企画立案～演出」の過程を体験することを通じ、 「面白さ」を目的とした作品作りの基礎を理解・習得する。						
授業概要	映像によるフィクション作品(劇映画・ドラマ)の制作過程において、 その全過程の指針となるべき「企画性＝アイデア」の重要性と、その具体化作業としての「演出」の基礎を学ぶ。 主な課題として短編ドラマ撮影実習用の企画・脚本の作成、ドキュメンタリー撮影実習用の企画開発を行う。						
授業計画表		授業内容		授業内容			
	1	オリエンテーション1	19	【前期末テスト】小論文			
	2	オリエンテーション2	20	【演出の基礎2】演出効果とは？実例1＝レンズ(講義)			
	3	オリエンテーション3	21	【撮影実習】めまいショットを撮影する			
	4	映像制作過程における 企画作成と演出について(講義)	22	【演出の基礎3】第4の壁と「どんでん」について(講義)			
	5	映像作品の「企画性」について (講義・参考作品上映)	23	【企画性と演出の関係1】 2種類のクライマックス(参考上映)			
	6	【グループ学習】 参考作品の「企画性」を分析・発表	24	【企画性と演出の関係2】 4象限図式による発想(参考上映)			
	7	【グループ学習】各セレクト作品について 「企画性」を分析・発表	25	【演出の基礎4】 演出効果とは？実例2＝アイキャッチ(参考上映)			
	8	【企画の基礎1】 制作条件を逆手に取る方法(講義)	26	【演出の基礎5】 演出効果とは？発展編＝フェティシズム(参考上映)			
	9	ドラマ撮影用企画プレゼン1	27	【企画の基礎2】TVドキュメンタリーにおける企画開発			
	10	ドラマ撮影用企画プレゼン2	28	【グループ学習】取材もの企画プレゼン1			
	11	ドラマ撮影用企画プレゼン3	29	【グループ学習】取材もの企画プレゼン2			
	12	ドラマ撮影用企画・個別指導1	30	【グループ学習】取材もの企画プレゼン3			
	13	ドラマ撮影用企画・個別指導2	31	【グループ学習】取材もの企画プレゼン4			
	14	ドラマ撮影用企画・個別指導3	32	映像業界を志すにあたって知っておくべきこと1(講義)			
	15	【脚本の基礎】劇映画・ドラマ脚本の 書式について(講義)	33	映像業界を志すにあたって知っておくべきこと2 (参考上映)			
	16	ドラマ撮影用脚本・最終個別指導	34	確認テスト・まとめ1			
	17	【演出の基礎1】 段取り決め＝役者の立ち位置と動線(講義)	35	確認テスト・まとめ2			
	18	【小論文テスト解説】 自分の意図を言語化するコツ(講義)	36	確認テスト・まとめ3			
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付			
	学習態度	20%					
	レポート	40%	成績評価			出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60 ～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%					
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>30% G<海外体験型学習>0%						
講師 プロフィール	合田典彦(ごうだ のりひこ) /脚本家 ○2011『東京公園』(原作・小路幸也。第64回ロカルノ国際映画祭 金豹賞審査員特別賞) 共同脚本 ○2013『Sweet Sickness』(オランダ カメラジャパンフェスティバル2013出品) 脚本協力 ○2015『NONFIX いまさら都市伝説-皆神山ピラミッド伝説のゆくえ』(フジテレビ・ドキュメンタリ) 構成 ○2016『ウエスト・トウキョウ・ストーリー』脚本・構成 他、インディペンデント映画の脚本・演出、テレビ朝日系情報番組・構成、東映系映像イベント企画・構成、等多数。						

シラバス

科目名	映像技法		担当者名	鈴木 新吾	
学科	放送芸術科 大学コース		授業方法	講義・実習	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>	授業時間数	72時間 (週講時数2)
授業目的	個人の技術の向上と、自由な発想で映像表現し、他者による評価や反応で表現力を深める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	物語性のある映像作品を個人、少人数で制作し、企画、シナリオ、演出、撮影、編集までの行程を学習し総合的な技術を高める。				
授業概要	前期は個人の技術向上を中心に課題を与え、映像のみで状況や感情を表現する方法を学び、後期には少人数で映像作品を制作しyoutubeなどに公開、自己表現と他者へ向けた映像表現の違いを学ぶ。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	CM作成企画発表	
	2	オリエンテーション2	20	CM制作グループ構成□	
	3	オリエンテーション3	21	CM制作撮影	
	4	ガイダンス	22	CM制作撮影	
	5	カメラの種類、撮影技法(アングル、サイズ)についての講義	23	CM制作撮影、編集	
	6	カメラフォーマットの違い、スマホ撮影の講義(フルHD、4K)	24	CM制作プレビュー、ディスカッション	
	7	個人作成ショートムービー説明、企画	25	CM制作完成プレビュー、総評	
	8	個人作成ショートムービー企画	26	ショートムービー企画	
	9	個人作成ショートムービー企画発表	27	ショートムービー企画	
	10	個人作成ショートムービー撮影	28	ショートムービー撮影準備	
	11	個人作成ショートムービー撮影	29	ショートムービー撮影	
	12	個人作成ショートムービー編集	30	ショートムービー撮影	
	13	個人作成ショートムービー編集	31	ショートムービー撮影、編集	
	14	個人作成ショートムービー発表	32	ショートムービープレビュー	
	15	個人作成ショートムービー発表、総評	33	ショートムービー完成プレビュー、総評□	
	16	CM制作概要説明、企画コンテ作成	34	確認テスト・まとめ1	
	17	CM制作企画コンテ作成	35	確認テスト・まとめ2	
18	CM作成企画発表	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度	30%			
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫60% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫0%				
講師 プロフィール	ミュージックビデオの監督としてキャリアをスタートさせ、現在はニッスイ、資生堂、明治などのWEB CM、SNS広告で監督を務めている。				

シラバス

科目名	ハンニア編集		担当者名	鳥羽 茉李奈	
学科	放送芸術科 大学コース		授業方法	実習・講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・(必修選択)	授業時間数	72時間 (週講時数2)
授業目的	映像編集で使用されているAdobe社ソフト(PremierePro)の基礎を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	オフラインからオンラインまで編集業務を幅広く理解し、編集作業が行えるようになる。				
授業概要	編集作業では、カメラ、音声、照明、演出、全ての知識が必要であり、またその逆もあるということを映像制作に携わるものとして全員が理解する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	PremierePro トランジションを学ぶ①	
	2	オリエンテーション2	20	PremierePro トランジションを学ぶ②	
	3	オリエンテーション3	21	PremierePro トランジションを学ぶ③	
	4	編集素材・フォルダの管理と整理	22	PremierePro エフェクトを学ぶ①	
	5	素材の読み込みと書き出し	23	PremierePro エフェクトを学ぶ②	
	6	PremierePro 基本設定	24	PremierePro エフェクトを学ぶ③	
	7	PremierePro プロジェクトの管理と整理	25	PremierePro トラッキングを学ぶ①	
	8	PremierePro カット編集①	26	PremierePro トラッキングを学ぶ②	
	9	PremierePro カット編集②	27	PremierePro 加工画面を学ぶ①	
	10	PremierePro カット編集③	28	PremierePro 加工画面を学ぶ②	
	11	PremierePro カラコレ①	29	PremierePro 加工画面を学ぶ③	
	12	PremierePro カラコレ②	30	PremierePro スライドショー作り①	
	13	PremierePro カラコレ③	31	PremierePro スライドショー作り②	
	14	PremierePro テロップ入れ①	32	PremierePro スライドショー作り③	
	15	PremierePro テロップ入れ②	33	後期総括/講評	
	16	PremierePro テロップ入れ③	34	確認テスト・まとめ1	
	17	PremierePro テロップ入れ④	35	確認テスト・まとめ2	
18	前期総括/講評	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度	30%			
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~ 69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>70% G<<海外体感型学習>>0%				
講師 プロフィール	テロップデザイナー、エディターとしてテレビ制作におけるポスプロダクションで活躍。バラエティー・スポーツ・ドキュメンタリーと、番組のジャンルを問わず幅広く携わっている。				

シラバス

科目名	デジタル画像 I		担当者名	鳥羽 茉李奈	
学科	放送芸術科 大学コース		授業方法	実習・講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択(必修選択)	授業時間数	72時間 (週講時数 2)
授業目的	映像編集で使用されているAdobe社ソフト(Photoshop/AfterEffects)の基礎を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	テレビ番組制作に必要な静止画の加工や加工画面、簡単なCGを学び、作成する。				
授業概要	映像作品に必要な“撮影動画以外の素材”を作り出す技術の習得				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	Photoshop レイヤースタイルを学ぶ	
	2	オリエンテーション2	20	Photoshop スマートオブジェクトを学ぶ	
	3	オリエンテーション3	21	Photoshop 写真加工(定規/トリミング)	
	4	Photoshop 基本操作	22	Photoshop パターンの定義を学ぶ	
	5	Photoshop 写真加工(カラコレ/切り抜き)	23	Photoshop レイヤーマスクとベクトルマスク	
	6	Photoshop 合成	24	IllustratorからPhotoshopへ	
	7	Photoshop エフェクト操作	25	Photoshop 自己紹介画面の作成①	
	8	Photoshop 文字作成	26	Photoshop 自己紹介画面の作成②	
	9	Photoshop タイトルロゴ作成	27	Photoshop 自己紹介画面の作成③	
	10	Photoshop タイトル画面作成	28	AfterEffects パーティクルを学ぶ	
	11	AfterEffects 基本操作	29	AfterEffects スライドショー作り①	
	12	AfterEffects キーフレームの学習①	30	AfterEffects スライドショー作り②	
	13	AfterEffects キーフレームの学習②	31	AfterEffects スライドショー作り③	
	14	AfterEffects ヌルとカメラの学習①	32	AfterEffects スライドショー作り④	
	15	AfterEffects ヌルとカメラの学習②	33	後期総括/講評	
	16	AfterEffects タイトル画面を動画にする①	34	確認テスト・まとめ1	
	17	AfterEffects タイトル画面を動画にする②	35	確認テスト・まとめ2	
18	前期総括/講評	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度	30%			
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~ 69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫70% G≪海外体感型学習≫0%				
講師 プロフィール	テロップデザイナー、エディターとしてテレビ制作におけるポストプロダクションで活躍。バラエティー・スポーツ・ドキュメンタリーと、番組のジャンルを問わず幅広く携わっている。				

シラバス

科目名	制作実習 I		担当者名	古川 農 相澤 一喜 秋元 孝夫 荻原 邦昭 藤田 亜美	
学科	放送芸術科 大学コース		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	12単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修 ・選択・必修選択	授業時間数	216時間 (週講時数 6)
授業目的	映像制作の過程をそれぞれのセクションを通して理解を深め、自らで映像制作できることを目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	映像制作における基礎である4つのセクションを学び、映像制作の過程を通して、 目指したい職種を見極める力、コミュニケーション力を身に付ける。				
授業概要	授業形式は実習を基本とし、基礎とある授業では、4つのセクション(演出・制作/撮影/照明/音声)に分かれ全てのセクションを学修する。インタビューやドラマなどは、1つの作品の制作過程を一連で学習していく。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	ドラマ実習③テスト撮影②	
	2	オリエンテーション2	20	ドラマ実習④撮影①	
	3	オリエンテーション3	21	ドラマ実習⑤撮影②	
	4	授業ガイダンス/自己紹介	22	ドラマ実習⑥編集①	
	5	ロケ基礎①	23	ドラマ実習⑥編集②	
	6	ロケ基礎②	24	ドラマ実習⑦完パケ/プレビュー	
	7	ロケ基礎③	25	スタジオ基礎実習①	
	8	ロケ基礎④	26	スタジオ基礎実習②	
	9	インタビュー実習①準備①	27	スタジオ基礎実習③	
	10	インタビュー実習②準備②/テスト撮影	28	スタジオ基礎実習④	
	11	インタビュー実習③撮影	29	スタジオ実習①企画/準備①	
	12	インタビュー実習④編集①	30	スタジオ実習②準備②	
	13	インタビュー実習⑤編集②	31	スタジオ実習③位置決め	
	14	インタビュー実習⑥完パケ/プレビュー	32	スタジオ実習④ドライRH	
	15	ドラマ基礎①	33	スタジオ実習⑤カメラRH/本番	
	16	ドラマ基礎②	34	確認テスト・まとめ1	
	17	ドラマ実習①準備①	35	確認テスト・まとめ2	
18	ドラマ実習②準備②/テスト撮影①	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	レポートの返却 作品ごとの講評	
	学習態度	20%			
	レポート	80%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体験型学習>>0%				
講師 プロフィール	担当教員は各セクションを次のように担当する。 演出・制作…相澤 一喜 / 撮影…荻原 邦昭、古川 農 / 音声…秋元 孝夫 / 照明…藤田 亜美				

シラバス

科目名	基礎ゼミIA		担当者名	古川 農 相澤 一喜 鈴木 新吾		
学科	放送芸術科 大学コース		授業方法	実習		
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	36時間 (週講時数1)	
授業目的	自分自身を映像で表現することを通して、主体的に挑戦する力を養う。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	自分自身を映像で表現することを通して、自己理解を図る。また、他者の作品を見ることにより、他者への理解を深める。それらに主体的に挑戦することで、主体的に挑戦する力を養う					
授業概要	前期は、個人での映像作成を通して、自己理解を図る。合わせて他者への理解を深める。 後期は、少人数グループでの映像制作を通して、自己表現との違いを学ぶ。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション1	19	CM作成企画発表		
	2	オリエンテーション2	20	CM制作グループ構成□		
	3	オリエンテーション3	21	CM制作撮影		
	4	ガイダンス	22	CM制作撮影		
	5	カメラの種類、撮影技法(アングル、サイズ)についての講義	23	CM制作撮影、編集		
	6	カメラフォーマットの違い、スマホ撮影の講義(フルHD、4K)	24	CM制作プレビュー、ディスカッション		
	7	個人作成ショートムービー説明、企画	25	CM制作完成プレビュー、総評		
	8	個人作成ショートムービー企画	26	ショートムービー企画		
	9	個人作成ショートムービー企画発表	27	ショートムービー企画		
	10	個人作成ショートムービー撮影	28	ショートムービー撮影準備		
	11	個人作成ショートムービー撮影	29	ショートムービー撮影		
	12	個人作成ショートムービー編集	30	ショートムービー撮影		
	13	個人作成ショートムービー編集	31	ショートムービー撮影、編集		
	14	個人作成ショートムービー発表	32	ショートムービープレビュー		
	15	個人作成ショートムービー発表、総評	33	ショートムービー完成プレビュー、総評□		
	成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度	30%			
レポート		70%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格		
合計	100%					
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>0%					
講師 プロフィール	鈴木 新吾…ミュージックビデオの監督としてキャリアをスタートさせ、現在はニッスイ、資生堂、明治などのWEB CM、SNS広告で監督を務めている。					

シラバス

科目名	ビジネススキルⅡ		担当者名	相澤 一喜	
学科	放送芸術科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修 ・選択・必修選択	授業時間数	36時間 (週講時数1)
授業目的	社会人としての知識やルールを身に付け、卒業後、社会人として恥ずかしくないような知識を身に付ける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	社会人としてのビジネススキルと一般教養を身につける事を目標とする。				
授業概要	就職指導を主とし、ビジネススキルと一般教養を身に付ける。 一般常識テスト、SPIテスト、グループワーク、個人面談、就職指導、業界理解、情報共有など。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	一般常識テスト③	
	2	オリエンテーション2	20	テクノス祭準備/情報共有	
	3	オリエンテーション3	21	テクノス祭準備/情報共有	
	4	一般常識テスト①	22	テクノス祭準備/情報共有	
	5	就職活動の流れ確認/企業調査・業界研究	23	SPIテスト③	
	6	就職用提出書類について/企業調査・業界研究	24	グループワーク	
	7	エントリーシートの書き方/企業調査・業界研究	25	グループワーク	
	8	SPIテスト①	26	グループワーク	
	9	自己PRシートの書き方/企業調査・業界研究	27	一般常識テスト④	
	10	就職試験(面接)でのポイント・ルール①	28	テクノス展準備/情報共有	
	11	就職試験(面接)でのポイント・ルール②	29	テクノス展準備/情報共有	
	12	一般常識テスト②	30	テクノス展準備/情報共有	
	13	企業調査・業界研究	31	テクノス展準備/情報共有	
	14	企業調査・業界研究	32	テクノス展準備/情報共有	
	15	就職活動報告・提出書類について	33	テクノス展準備/情報共有	
	16	SPIテスト②	34	確認テスト・まとめ1	
	17	グループワーク	35	確認テスト・まとめ2	
	18	グループワーク	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	授業ごとの講評	
	学習態度	100%			
	レポート	0%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>0%				
講師 プロフィール	担当教員は放送芸術科の選任教員。アシスタントディレクター、Web送出オペレーター、編集オペレーターなどの実務経験がある。				

シラバス

科目名	制作実習Ⅱ		担当者名	古川 農 相澤 一喜 日原 進太郎 鈴木 新吾 荻原 邦昭	
学科	放送芸術科 大学コース		授業方法	実技	
認定単位 開講学年	30単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修 ・選択・必修選択	授業時間数	540時間 (週講時数 15)
授業目的	制作チーム内に加え、チーム外(地域や他学科など)の人たちとのコミュニケーションを通して、TPOに合わせたコミュニケーション力を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1年次に学んだ映像制作の基礎を生かし、企画～撮影～編集～納品という一連の政策過程を学生主導で行う。 他学科・企業・自治体への取材や撮影を積極的に取り入れ、主体性・コミュニケーション能力・知識・技術を身に付ける。 また、作品を外部へ発信することで、責任感を与え、質の高い作品制作を行う事を目標とする。				
授業概要	前期は国分寺市から依頼を受けた「国分寺市PR動画」制作を行う。 後期はジャンルを問わず、学生自らが企画した作品を制作する。 演出/制作/撮影/音声/照明/編集などの希望職種に分かれ、企画～撮影～編集～納品というスケジュールを 前期/後期にそれぞれ行う。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション1	19	【プリプロダクション】企画開発／準備①	
	2	オリエンテーション2	20	【プリプロダクション】企画開発／準備②	
	3	オリエンテーション3	21	【プリプロダクション】企画開発／準備③	
	4	【プリプロダクション】企画開発／事前取材①	22	【プリプロダクション】企画開発／準備④	
	5	【プリプロダクション】企画開発／事前取材②	23	【プロダクション】撮影①	
	6	【プリプロダクション】企画開発／事前取材③	24	【プロダクション】撮影②	
	7	【プリプロダクション】企画開発／事前取材④	25	【プロダクション】撮影③	
	8	【プロダクション】撮影①	26	【プロダクション】撮影④	
	9	【プロダクション】撮影②	27	【プロダクション】撮影⑤	
	10	【プロダクション】撮影③	28	【プロダクション】撮影⑥	
	11	【プロダクション】撮影④	29	【ポストプロダクション】編集①	
	12	【プロダクション】撮影⑤	30	【ポストプロダクション】編集②	
	13	【プロダクション】撮影⑥	31	【ポストプロダクション】編集③(試写)	
	14	【ポストプロダクション】編集①	32	【ポストプロダクション】編集④	
	15	【ポストプロダクション】編集②	33	【ポストプロダクション】編集⑤(完パケ・納品)	
	16	【ポストプロダクション】編集③(試写)	34	確認テスト・まとめ1	
	17	【ポストプロダクション】編集④	35	確認テスト・まとめ2	
18	【ポストプロダクション】編集⑤(完パケ・納品)	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	作品ごとの講評	
	学習態度	100%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79 点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体験型学習>>10%				
講師 プロフィール	担当教員は各セクションを次のように担当する。 演出・制作…日原 進太郎、鈴木 新吾、相澤 一喜 / 技術…荻原 邦昭、古川 農				

シラバス

科目名	課題研究Ⅱ		担当者名	鈴木 新吾	
学科	放送芸術科 大学コース		授業方法	講義・実習	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択 必修選択	授業時間数	72時間 (週講時数2)
授業目的	個人の技術の向上と、自由な発想で映像表現し、他者による評価や反応で表現力を深める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	物語性のある映像作品を個人、少人数で制作し、企画、シナリオ、演出、撮影、編集までの行程を学習し総合的な技術を高める。				
授業概要	前期は個人の技術向上を中心に課題を与え、映像のみで状況や感情を表現する方法を学び、後期には少人数で映像作品を制作しyoutubeなどに公開、自己表現と他者へ向けた映像表現の違いを学ぶ。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	CM作成企画発表	
	2	オリエンテーション2	20	CM制作グループ構成□	
	3	オリエンテーション3	21	CM制作撮影	
	4	ガイダンス、個人作成ショートムービー①説明・企画	22	CM制作撮影	
	5	個人作成ショートムービー①企画発表	23	CM制作撮影、編集	
	6	個人作成ショートムービー①撮影	24	CM制作プレビュー、ディスカッション	
	7	個人作成ショートムービー①編集	25	CM制作完成プレビュー、総評	
	8	個人作成ショートムービー①発表	26	ショートムービー企画	
	9	個人作成ショートムービー①発表、総評	27	ショートムービー企画	
	10	個人作成ショートムービー②説明、企画	28	ショートムービー撮影準備	
	11	個人作成ショートムービー②企画発表	29	ショートムービー撮影	
	12	個人作成ショートムービー②撮影	30	ショートムービー撮影	
	13	個人作成ショートムービー②編集	31	ショートムービー撮影、編集	
	14	個人作成ショートムービー②発表	32	ショートムービープレビュー	
	15	個人作成ショートムービー②発表、総評	33	ショートムービー完成プレビュー、総評□	
	16	CM制作概要説明、企画作成	34	確認テスト・まとめ1	
	17	CM制作企画コンテ作成	35	確認テスト・まとめ2	
18	CM作成企画コンテ発表	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度	30%			
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫60% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫0%				
講師 プロフィール	ミュージックビデオの監督としてキャリアをスタートさせ、現在はニッスイ、資生堂、明治などのWEB CM、SNS広告で監督を務めている。				

シラバス

科目名	演出Ⅱ		担当者名	合田 典彦	
学科	放送芸術科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択(必修選択)	授業時間数	72時間 (週講時数 2)
授業目的	映像制作の現場に制作者として、スタッフとして、主体的に関わるための「クリエイティビティ=創造性」について、先行事例研究と体験型学習を通じて学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	映像制作における「企画立案～演出」の過程を体験することを通じ、「新しい映像作品・番組」を作るための基礎を理解・習得する。				
授業概要	「企画制作」の授業と連動して行う。映像によるフィクション作品(劇映画・ドラマ)を主な具体例とし、映像制作過程の指針である「演出」についての概論を学ぶ。課題として卒業制作実習用の企画開発・脚本・構成の作成、および、通年授業の習得度を研究発表の形でプレゼンテーションすることを課する。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション1	19	【演出・中級編5】パンショットとドリーショット	
	2	オリエンテーション2	20	ワンシーン＝ワンカット撮影実習	
	3	オリエンテーション3	21	【演出・中級編6】立ち位置と動線。境界線を引く	
	4	【企画性と演出を結ぶ1】モチーフについて1	22	【演出・中級編7】ありえないカメラポジション。非日常の視線	
	5	【企画性と演出を結ぶ2】ドラマ実習講評。トリック作品セレクション。	23	【脚本と演出1】優れた脚本の4条件。	
	6	【演出・中級編1】会話シーンを映像的に撮影する工夫	24	【脚本と演出2】ハリウッドメソッドについて。脚本の縦軸	
	7	トリック撮影実習	25	【脚本と演出3】グレマスの行為項モデル。脚本の横軸	
	8	【演出・中級編2】イマジナリーラインを演出に生かす	26	【脚本と演出4】二つのプロットライン	
	9	【企画・中級編】テーマと世界観について	27	予備日・研究発表準備	
	10	【グループ学習】卒業制作実習用、企画開発1	28	【グループ学習】A班研究発表	
	11	【グループ学習】卒業制作実習用、企画開発2	29	【グループ学習】B班研究発表	
	12	【グループ学習】卒業制作実習用、企画開発3	30	【グループ学習】C班研究発表	
	13	【個別指導】ドラマ企画過去作品の参考上映、解説	31	【グループ学習】D班研究発表	
	14	【個別指導】企画もの過去作品の参考上映、解説	32	【グループ学習】F班研究発表	
	15	【個別指導】ドラマ企画・脚本指導	33	【企画と演出を結ぶ・実践編】映像フィクションの最前線	
	16	【個別指導】企画もの構成指導	34	確認テスト・まとめ1	
	17	【演出・中級編3】選定作品発表。良い演技を引き出す	35	確認テスト・まとめ2	
	18	【演出・中級編4】演出における撮影・照明(録音)の工夫	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	個別講評シート配布 前期・後期 成績表送付	
	学習態度	30%			
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60 ～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>0%				
講師 プロフィール	合田典彦(ごうだ のりひこ) /脚本家 ○2011『東京公園』(原作・小路幸也。第64回ロカルノ国際映画祭 金豹賞審査員特別賞) 共同脚本 ○2013『Sweet Sickness』(オランダ カメラジャパンフェスティバル2013出品) 脚本協力 ○2015『NONFIX いまさら都市伝説-皆神山ピラミッド伝説のゆくえ』(フジテレビ・ドキュメンタリ) 構成 ○2016『ウエスト・トウキョウ・ストーリー』脚本・構成 他、インディペンデント映画の脚本・演出、テレビ朝日系情報番組-構成、東映系映像イベント-企画・構成、等多数。				

シラバス

科目名	デジタル画像Ⅱ		担当者名	小泉 みのり	
学科	放送芸術科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択 <u>必修選択</u>	授業時間数	72時間 (週講時数 2)
授業目的	テレビ制作の基礎知識、映像知識を身に付ける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	テレビデザインの基礎知識を理解し、近年メディアの多様化、移り変わりへの対応策など考案できる人材を育て、現場に出た時に即戦力となる人材を目標とする。				
授業概要	テレビ放送の基礎知識。制作・撮影・編集などそれに伴う知識を座学形式で行う。 撮影基礎知識から映像の原理などメディア技術。 また、近年のメディアの変化、対応など技術的に説明。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	文字テロップのデザイン4 文字効果	
	2	オリエンテーション2	20	コピー制御	
	3	オリエンテーション3	21	企画書	
	4	ファーストカット	22	収録フォーマット	
	5	基本的カメラワークの効果	23	アップコンバート	
	6	香盤表	24	ダウンコンバート	
	7	セーフティエリア / フレームレート	25	構図の重要性	
	8	インターレース / フリッカー	26	クレジット&キューシート	
	9	ドロップフレームタイムコード	27	3D映像の原理と方式	
	10	HDTVの基礎知識	28	キャッチコピー	
	11	SDTVとHDTVの違い	29	HDの種類	
	12	キーイング	30	著作権表示	
	13	色の属性 / ベクトルデータとビットマップ	31	広告効果	
	14	画面サイズとピクセル縦横比 / HDの種類	32	国内放送基準	
	15	映像表現のガイドライン	33	後期期末試験対策(総復習)	
	16	文字テロップのデザイン1 情報デザイン	34	確認テスト・まとめ1	
	17	文字テロップのデザイン2 レイアウト	35	確認テスト・まとめ2	
18	文字テロップのデザイン3 人名字取り	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	100%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度	0%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>35% A<<主体的参加型学習>>35% G<<海外体感型学習>>0%				
講師 プロフィール	CM,PV,イベント,テレビ,アニメ,映画祭のOPCG等、数々の作品でマルチに活躍。 現在フリーランスとして活動。				

シラバス

科目名	企画制作		担当者名	合田 典彦	
学科	放送芸術科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択(必修選択)	授業時間数	72時間 (週講時数 2)
授業目的	映像制作の現場に制作者として、スタッフとして、主体的に関わるための「クリエイティビティ=創造性」について、先行事例研究と体験型学習を通じて学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	映像制作における「企画立案～演出」の過程を体験することを通じ、「新しい映像作品・番組」を作るための基礎を理解・習得する。				
授業概要	「演出Ⅱ」の授業と連動して行う。 映像によるフィクション作品(劇映画・ドラマ)を主な具体例とし、映像制作過程の指針である「企画開発」についての概論を学ぶ。課題として卒業制作実習用の企画開発・脚本・構成の作成、および、通年授業の習得度を研究発表の形でプレゼンテーションすることを課する。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	【演出・中級編5】パンショットとドリーショット	
	2	オリエンテーション2	20	ワンシーン＝ワンカット撮影実習	
	3	オリエンテーション3	21	【演出・中級編6】立ち位置と動線。境界線を引く	
	4	【企画性と演出を結ぶ1】モチーフについて1	22	【演出・中級編7】ありえないカメラポジション。非日常の視線	
	5	【企画性と演出を結ぶ2】ドラマ実習講評。トリック作品セクション。	23	【脚本と演出1】優れた脚本の4条件。	
	6	【演出・中級編1】会話シーンを映像的に撮影する工夫	24	【脚本と演出2】ハリウッドメソッドについて。脚本の縦軸	
	7	トリック撮影実習	25	【脚本と演出3】グレマスの行為項モデル。脚本の横軸	
	8	【演出・中級編2】イマジナリーラインを演出に生かす	26	【脚本と演出4】二つのプロットライン	
	9	【企画・中級編】テーマと世界観について	27	予備日・研究発表準備	
	10	【グループ学習】卒業制作実習用、企画開発1	28	【グループ学習】A班研究発表	
	11	【グループ学習】卒業制作実習用、企画開発2	29	【グループ学習】B班研究発表	
	12	【グループ学習】卒業制作実習用、企画開発3	30	【グループ学習】C班研究発表	
	13	【個別指導】ドラマ企画過去作品の参考上映、解説	31	【グループ学習】D班研究発表	
	14	【個別指導】企画もの過去作品の参考上映、解説	32	【グループ学習】F班研究発表	
	15	【個別指導】ドラマ企画・脚本指導	33	【企画と演出を結ぶ・実践編】映像フィクションの最前線	
	16	【個別指導】企画もの構成指導	34	確認テスト・まとめ1	
	17	【演出・中級編3】選定作品発表。良い演技を引き出す	35	確認テスト・まとめ2	
18	【演出・中級編4】演出における撮影・照明(録音)の工夫	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	個別講評シート配布 前期・後期 成績表送付	
	学習態度	30%			
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60 ～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体験型学習>>0%				
講師 プロフィール	合田典彦(ごうだ のりひこ) /脚本家 ○2011『東京公園』(原作・小路幸也。第64回ロカルノ国際映画祭 金豹賞審査員特別賞) 共同脚本 ○2013『Sweet Sickness』(オランダ カメラジャパンフェスティバル2013出品) 脚本協力 ○2015『NONFIX いまさら都市伝説-皆神山ピラミッド伝説のゆくえ』(フジテレビ・ドキュメンタリ) 構成 ○2016『ウエスト・トウキョウ・ストーリー』脚本・構成 他、インディペンデント映画の脚本・演出、テレビ朝日系情報番組・構成、東映系映像イベント企画・構成、等多数。				

シラバス

科目名	応用ゼミⅡA		担当者名	古川 農 相澤 一喜 日原 進太郎	
学科	放送芸術科 大学コース		授業方法	実技	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	36時間 (週講時数1)
授業目的	チームで映像制作を行うことで、チームで制作する上で必要なコミュニケーション力を学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	企画～撮影～編集～納品という一連の制作過程をチームで行うことにより、チーム制作に必要なコミュニケーションを学ぶ。 また、他学科・企業・自治体への取材や撮影を積極的に取り入れ、他学科・学外とのコミュニケーションを行うことで、 それぞれに必要なコミュニケーション力を養う。				
授業概要	前期は国分寺市から依頼を受けた「国分寺市PR動画」制作を行う。 後期はジャンルを問わず、学生自らが企画した作品を制作する。 演出/制作/撮影/音声/照明/編集などの希望職種に分かれ、 企画～撮影～編集～納品というスケジュールを前期/後期にそれぞれ行う。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	【プリプロダクション】企画開発／準備①	
	2	オリエンテーション2	20	【プリプロダクション】企画開発／準備②	
	3	オリエンテーション3	21	【プリプロダクション】企画開発／準備③	
	4	【プリプロダクション】企画開発／事前取材①	22	【プリプロダクション】企画開発／準備④	
	5	【プリプロダクション】企画開発／事前取材②	23	【プロダクション】撮影①	
	6	【プリプロダクション】企画開発／事前取材③	24	【プロダクション】撮影②	
	7	【プリプロダクション】企画開発／事前取材④	25	【プロダクション】撮影③	
	8	【プロダクション】撮影①	26	【プロダクション】撮影④	
	9	【プロダクション】撮影②	27	【プロダクション】撮影⑤	
	10	【プロダクション】撮影③	28	【プロダクション】撮影⑥	
	11	【プロダクション】撮影④	29	【ポストプロダクション】編集①	
	12	【プロダクション】撮影⑤	30	【ポストプロダクション】編集②	
	13	【プロダクション】撮影⑥	31	【ポストプロダクション】編集③(試写)	
	14	【ポストプロダクション】編集①	32	【ポストプロダクション】編集④	
	15	【ポストプロダクション】編集②	33	【ポストプロダクション】編集⑤(完パケ・納品)	
	16	【ポストプロダクション】編集③(試写)	34	確認テスト・まとめ1	
	17	【ポストプロダクション】編集④	35	確認テスト・まとめ2	
	18	【ポストプロダクション】編集⑤(完パケ・納品)	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	作品ごとの講評	
	学習態度	100%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79 点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体験型学習≫10%				
講師 プロフィール	担当教員は各セッションを次のように担当する。 演出・制作…日原 進太郎、相澤 一喜 / 技術…古川 農				